

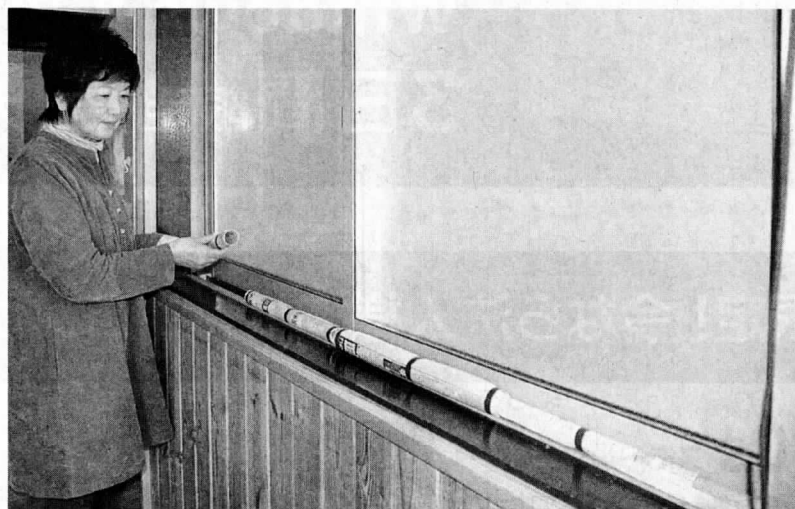
師走のココロエ

“締めくくり”を垢がりなく

ことしも冬がやって来た。学校の冬休みなども近く、室内で過ごす時間も多くなる。寒いからといってエアコンやファンヒーターなどをどんどん使えば電気代や灯油代が気になり、乾燥や結露も厄介だ。省エネに、かつ快適に過ごすにはどうしたらいいのだろうか。

「新潟の冬はエアコンは役に立たないと思うが

部屋を快適に



エアコン併用効率的

窓の結露には新聞紙活用

ちですが、寒冷地用や機すよ」。日常生活の省エネ普及指導員の鳥井啓子「エアコンをつけ、約20度の能が整ったものは便利で、ネルギーを啓発する省エネさん(62)新潟市東区」設定で運転する。空気を

が教えてくれた。

電気代がかさむイメージがあるエアコンだが、カーペットを敷いたりすると、快適さが増す。効率よく交換された熱エネルギーで、室内を暖めると、快適さが増す。デメリットは空気の乾燥だ。簡単な解決策は洗濯物を干すことだが、一度に干す量が多すぎると、1階の階段の出入り口部分に突っ張り棒と布を使っ

ただ、「エアコンはスタートダッシュが苦手」(鳥井さん)なので、まずはファンヒーターなどで部屋を暖めてから、エリフォームで二重窓にした。以前は気泡緩衝材を自分の家に合った冬の過

結露対策として、窓の下に筒状にした新聞紙を置く鳥井啓子さん「新潟市東区

循環させるサーキュレーターを使ったり、ホット

乾燥だ。簡単な解決策は洗濯物を干すことだが、一度に干す量が多すぎると、1階の階段の出入り口部分に突っ張り棒と布を使っ

後を上回り、結露が大量に発生するので気をつけ

外気の寒さを遮断する井さんの家にはあちこちに快適に冬を過ごす工夫が凝らしてある。「寒さ

を我慢するのはつらい。自分

「はいですよ」と、鳥井さん

はほほ笑んだ。

こうした対策をして、結露は生じてしまっ

水分を吸い取る手軽な方法として、鳥井さんは窓の下に新聞紙を置いてい

る。見た目をよくするた

め、筒状に細く丸めて形崩れしないようにびちつ

と紙テープで留め、さりげなく置いている。

このほか、2階からの冷気で部屋が冷えないよ

う、1階の階段の出入り口部分に突っ張り棒と布を使っ

て、カーテンを厚めにし

て外気を遮ったりと、鳥井さんの家にはあちこちに快適に冬を過ごす工夫が凝らしてある。「寒さ

を我慢するのはつらい。自分

「はいですよ」と、鳥井さん